

菊連協 理事 各位
(写) 各町内会

作成日：令和5年1月23日
作成者：総務部事務局

菊連協 令和5年1月定例理事会 議事録 概要

日時：令和5年1月22日（日）10：00～

場所：菊水地区会館

欠席：宮野（女性部）

口内の事項が協議した内容結果です

I. 行政から連絡事項 ヴィーライアン所長から

(1) 令和5年「行政懇談会」の開催及び「連合町内会長懇談会」の中止について

- ・「行政懇談会」が開催されます。
内容：令和5年度予算編成の概要など。
日時：令和5年2月10日（金）16：00～17：00
場所：札幌パークホテル3階
出席予定者：蠣崎会長、永井会長、佐藤会長
- ・「連合町内会長懇談会」は新型コロナウイルス感染症拡大の状況下から中止。

II. 議題

1. 総務部より

(1) 蠣崎会長からの報告（負担金）について

① 札幌白石防火委員会

- ・12月12日（月）白石区防火委員会 板垣会長と菊連協 蠣崎会長との電話会談において菊連協からの要望が受け入れられなかったことから、脱退の意向を示した。今後脱退に向けた手続きを進める。

- ・板垣会長の判断は、防火委員会組織として議論されたものか不明であるが、菊連協としてはトップ会談の判断を基に、年度内脱退に向けた手続きを進める。

② 札幌白石防犯協会

- ・分担金について単価の引き下げ（案）示された。
- ・2月9日に常任理事会が再度開催され、協議される。

- ・各区での防犯協会分担金単価がバラバラだが、活動内容に違いがある。
- ・常任理事会で負担金7円から5円への単価減額について協議する。

③ クリーンさっぽろ衛生推進連絡協議会

- ・12月12日札幌市環境局業務課小泉係長（連絡協議会事務局）が来館し、菊連協からの要望についての対応の説明があったが、具体的な内容となっていなかったことから、蠣崎会長から脱退の意向について発言。
- ・脱退については下部組織である「白石区クリーンさっぽろ衛生推進連絡協議会」の扱いとなることから、1月30日開催の役員会に取り扱いについて（白石清掃事務所上田普及係長）が報告、協議が行われる。

・1月30日の役員会に永井会長、坂口会長が出席。

(2) 令和5年度町内会加入世帯数（令和5年1月1日現在札幌市への報告）

- ・令和5年度の住民組織助成金配分の算定基礎資料となります。

（各単町分を連町毎に集計）

連町名	住基世帯数	令5申請世帯数	令4申請世帯数
東	1,741	1,548	1,548
西	4,513	4,187	3,989
南	3,221	2,861	2,790
北	2,776	2,443	2,353
上町	924	813	824
計	13,175	11,852	11,504

(3) 令和5年度事業計画（案）における重点事業等について

- ・12月定例理事会で示した事業計画（案）における重点事業等についての追加提案がありました。今後、重点事業等について修文し、総会議案とするとともに、令和5年度に事業を進めるにあたり参考とします。（資料一1）

・連町毎に地域の課題や抱えている問題に差があり、菊連協として統一して問題解決することが難しくなっていると同時に、単年度で結論が得られるものでもなく、長期的な議論が必要である。

(4) 令和4年度収支決算（12月末現在）の状況について

- ・令和4年度収支決算において、約100万円の繰越金が見込まれる。

過去2年の繰越額（令和3→令和4）693千円

（令和2→令和3）850千円

となっているが、5年度当初に必要な経費については十分確保できることから、令和4年度返還額を上限に、各連町に返還したい。

- ・返還額及び返還方法については、令和4年度内に返還、又は令和5年度負担金において令和4年度返還額を減額することなど考えられるが、2月理事会で示したい。

2. 防災部より

・2月の防災部会、福まち役員会は、会議重複のため2月14日（火）⇒
2月21日（火）へ変更するので、関連役員へ連絡願います。

3. 渉外部より

・特になし

4. 女性部より

・特になし

Ⅲ、関連団体より

1. 菊水地区会館運営委員会から

・特になし

2. 菊水地区福祉のまち推進センターから

・令和4年度の事業計画は、ほぼ予定通り実施できた。
尚、福まち研修会（2月）を予定していたが令和5年上期へ延期する。
また、福まち主催のふれあい交流会は中止とした。

3. 菊水地区まちづくりネットワーク会議から

・令和4年度事業結果、令和5年度事業予定について関連団体（福まち
育成、民児協、菊連）との意見交換を2月7日（火）10時より開催。
任意の様式により関係資料を持参願いたい。
・2月16日（木）10時より運営委員会を開催します。

4. 菊水地区民生委員・児童委員協議会から

・子育てサロンを1月10日に開催し、30数名の参加有り。
今後も継続して実施予定。

5. 菊水地区青少年育成委員会から

・雪中運動会（中止）の代替行事として、小学生を対象に「作る・作りたい
雪像」の絵、イラスト、フォトを募集、1月31日に作品の品評を行い、2
月中に表彰を行う予定。

6. その他

・コロナ禍においては、地区会館使用にあたり入場制限等の制限があっ
たが、現在は行政からの指示や規制はなく、使用団体の判断で対応可能。
但し、飲酒については現在もNGである。

次回、2月定例理事会を2月12日（日）開催で如何でしょうか？

・令和5年2月21日（日）10時～ 開催します。

IV. 今後のスケジュール

月 日	曜日	開始時刻	会 議 名 称	開催場所等
1月30日	月	14:00	白石区クリーンさっぽろ 衛生推進協議会役員会	区民センター
2月7日	火	10:00	菊水地区まちづくりネットワーク会 議関連団体との意見交換	菊水地区会館
2月8日	水	10:00	総務事務局会議	菊水地区会館
2月9日	木	13:00 15:00	白石区町内会連絡協議会定例会 札幌白石防犯協会常任理事会	区民センター
2月10日	金	16:00	令和5年札幌市行政懇談会	パークホテル
2月12日	日	10:00	菊連協2月定例理事会	菊水地区会館
2月13日	月	10:00	理事会議事録作成・配布	菊水地区会館
2月21日	火	13:30 15:00	菊連協 防災部会 福まち 役員会	菊水地区会館
2月26日	木	10:00	ネットワーク会議運営委員会	菊水地区会館

※令和5年度定期総会は令和5年4月23日(日) 開催予定です。

以 上

令和5年度事業計画(案)における重点事業等についての意見・追加提案等について

内は報告のあった意見、追加提案等です。

○ 令和5年度重点事業等検討項目

【重点事業】

(1) 防災に備えて、地域団体との連携、支え合い体制づくりに向けての取り組み(継続)

- ・ 防災部会の開催(毎月第2火曜日13:30～ 菊水地区会館)
- ・ 研修会・講演会の開催(災害に備えての基本的対処法(心構え・備えなど)
- ・ 基幹避難所での避難訓練の開催(幌東小学校)
- ・ NW と共同で、研修・防災備品の購入及び連町への配分

(2) 行政と町内会の諸課題について共同の取り組み

- ・ 「未来につなぐ支えあい条例」(令和5年4月1日施行)に基づく取り組み(新規)
札幌市の条例に基づく令5年度支援策を踏まえた、関係事業の実施
「賃貸マンションの町内会加入促進、町内会活動の人材育成等」
- ・ 7月に町内会運営の課題について、行政と意見交換会を開催する。(継続)
「町内会の負担軽減・MS 加入促進対応等」

① 行政との諸課題についての意見交換は2回行ったが、菊連協から一方的に要望を伝えただけで終わった感が強い。今年度は、成果が感じられる活動にする必要があるため、加入率の促進に論点を置いて行政との取り組みに重点を置いてはどうか。

② 町内会の役員となり手不足により、町内会の維持が困難になった町内会が散見される。町内会役員になりたがらない理由としては、役員になる事で町内会以外の仕事が増えて負担になるとの意見が多く聞かれる。又、自身の町内会だけに専念できるのであればまだ何とか頑張れるとの意見がある。(会長職は特に負担を感じている、役員にも現役の人は無理)

※行政からの依頼、あて職が多く、家族を巻き込んで負担が多いので、自身の町内会に専念できるよう事業そのものを簡素化する方策を検討することを盛り込んでほしい。

【検討事項】

(1) 各種団体負担金(ふるさと会など)削減の取り組み(継続)

支出金の4割を占める団体の負担金の削減について、取り組みを継続。

→ ふるさと会における検討状況、白石防犯協会、白石防火委員会、クリーン札幌の対応を踏まえた検討

昨年から取り組んでいる4団体への負担金削減については、町内会は加入世帯からの会費で運営しているので、地域全体に係る団体に参加率で負担金を支払うのは妥当か疑問がある。又、白石区の連町の参加率に差が有る事も認識すべきである。各団体に対しては、必要性は認めるので毎年度の活動内容と地域での貢献度で負担金を支払うようにしてはどうか。

(2) 菊連協の組織、役割のあり方検討(新規)

単年度で結論が得られるものではなく、長期間の議論が必要と考えるが、現状での問題点の整理、他連町の事例研究、関係機関との必要な協議の把握など、より良い体制づくりに向けての検討のスタート元年とする

加入連町ごとに、地域の課題や抱えている問題に差があり、菊連協として統一して課題や問題解決をすることが難しくなっていると思う。(菊水地区祭り準備委員会も休止になった。)将来的には、菊連協を解体する方向で進んではどうかと思う。必要であれば、菊水地区町内連絡会を年2～3回開催する組織にすることも一案と思う。